

## 令和3年度森林環境譲与税使途実績一覧

森林環境譲与税は、森林整備及びその促進に関する費用に充てるものとされており、その使途は次の通りです。

(単位：千円)

事業名	事業内容	事業総額	うち森林環境譲与税 充当額	その他の財源
森林整備事業	森林経営管理制度に基づく森林所有者への意向調査や境界測量、選木調査を業者委託で実施。	2,475	2,475	0
木製名札ケース作成事業	木材利用の促進のため、市職員の名札ケースを作成し普及啓発を実施。	198	198	0
ごみ減量推進事業	木材利用の促進のため、木製家庭用生ごみ処理機購入補助を実施。	88	88	0
教育用器具等整備事業	木材利用の促進のため、中学校への木製下駄箱の導入を実施。	3,274	3,274	0
公共施設建設事業	木材利用の促進のため、保育園への木製下駄箱の導入を実施。	6,160	6,160	0
四季の森整備修繕	四季の森の散策路等周辺の森林整備を実施。	5,824	5,824	0
豊川市森林環境保全基金	将来の公共建築物建替等に内装木質化を推進するため、基金積立を実施。	5,421	5,421	0
合計		23,440	23,440	0

- ▶ 豊川市では、平成25年2月1日豊川市公共建築物等における木材の利用の促進に関する方針を定めた。この方針によって公共建築物等の整備のために用いる木材の需要を確保することにより、地域の林業や木材産業の振興、森林の整備を促進し、水源のかん養等の公益的機能の発揮、森林の循環や炭素固定による地球温暖化防止、再生産が可能な資源として循環型社会への貢献と、市民に木がもたらすやすらぎと温もりのある安全で快適な生活空間の提供を図ることも目的としている。
- ・ 森林環境譲与税の交付を契機として、木材利用推進の普及啓発として公共施設における備品の木質化を行った。
  - ・ 今後も公共建築物の建設計画があるため、森林環境譲与税を活用して木材利用の推進を行っていく。

## □ 事業内容

### 1 公共建築物の木質化事業

- ・ あいち認証材(東三河産ひのき材)を使用して音羽保育園のテーブル、椅子、下駄箱の木質化を実施。

【事業費】6,160千円（全額譲与税）

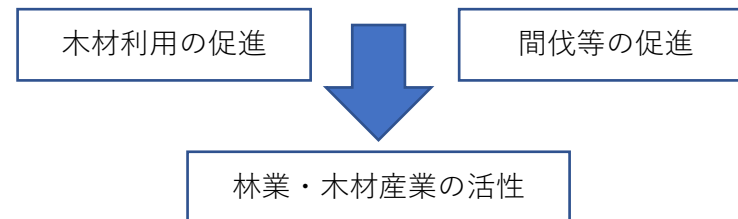
【実績】木材使用量 23.6m<sup>3</sup>



（事業1：公共建築物の木質化事業）

## □ 事業スキーム

- 1 あいち認証材(愛知県産材)における木材を使用して内装木質化を実施。



## □ 工夫・留意した点

- ・ 木がもたらすやすらぎと温もりのある安全で快適な生活空間の提供を図るため、園内備品の木質化を実施。今後も幼少期より木に親しむ機会を提供し、木材利用の推進を図る。

## □ 基礎データ

①令和3年度譲与額	23,440千円
②私有林人工林面積(※1)	3,270ha
③林野率(※2)	35.9%
④人口(※3)	184,661人
⑤林業就業者数(※4)	7人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、  
※4：「H27年国勢調査」より